

区のアンケート調査結果（抜粋）

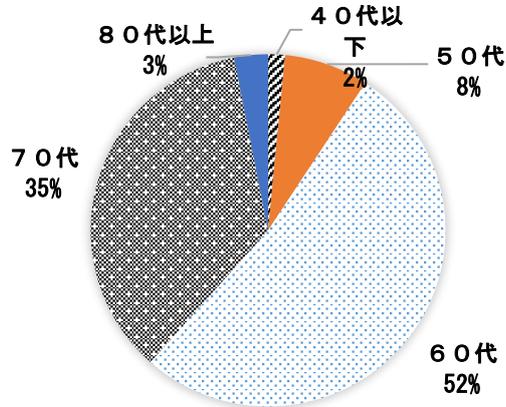
高齢化や人口減少、ライフスタイルの変化などにより、区はさまざまな課題を抱えています。

アンケートにより地域活動の現状と課題を分かりやすく整理し、今後の課題解決に向けた資料とします（回収率 93%）。

Q1. ①【区長の年齢】

	件数（区）
40代以下	1
50代	5
60代	34
70代	23
80代以上	2

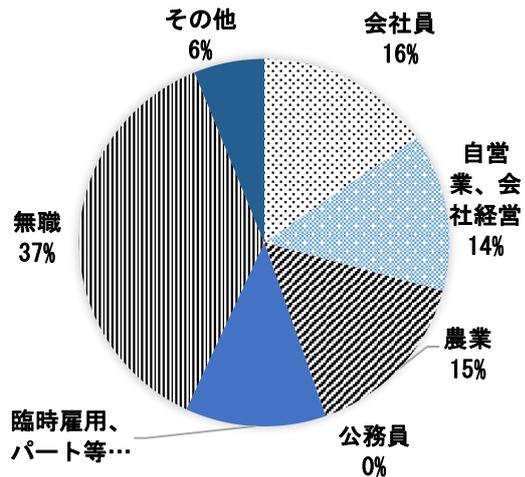
- 支えているのは60～70代です。
- 定年後に地域で活動を支えてくれる方の働き方の変化が、地域活動にも影響してきそうです。



Q1. ②【区長の職業】

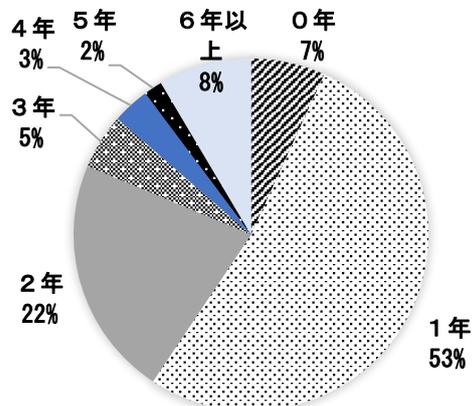
	件数（区）
会社員	10
自営業、会社経営	9
農業	10
公務員	0
臨時雇用、パート等	8
無職	24
その他	4

- 無職が多いですが、働いている区長さんも多くなっています。



Q1. ③【区長の在職年数】

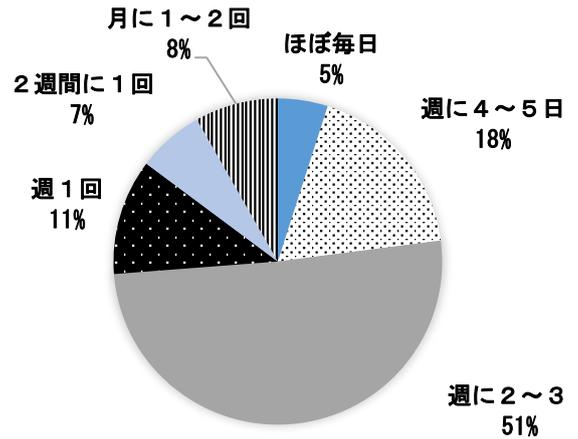
	件数（区）
0年	4
1年	31
2年	13
3年	3
4年	2
5年	1
6年以上	5



- ・1年任期と2年任期で75%を占めています。
- ・6年以上在籍している方もいらっしゃいます。

Q1. ④【区活動の従事日数】

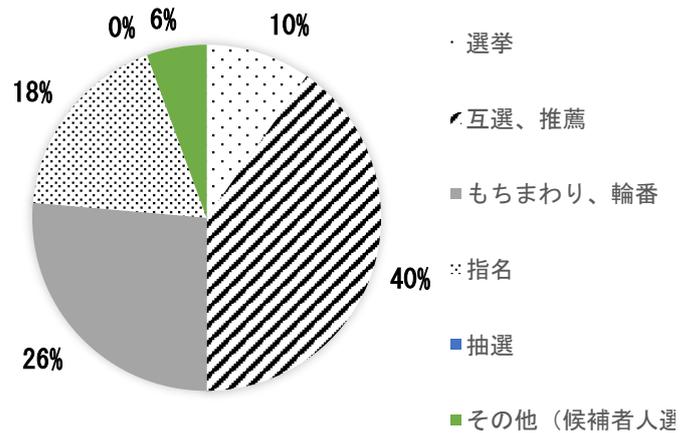
	件数(区)
ほぼ毎日	3
週に4～5日	11
週に2～3日	31
週1回	7
2週間に1回	4
月に1～2回	5



- ・週に2～3日が約半数です。
- ・ほぼ毎日、週に4～5日従事している区長さんも約1/4いらっしゃいました。

Q2. ①【区長の選出方法】

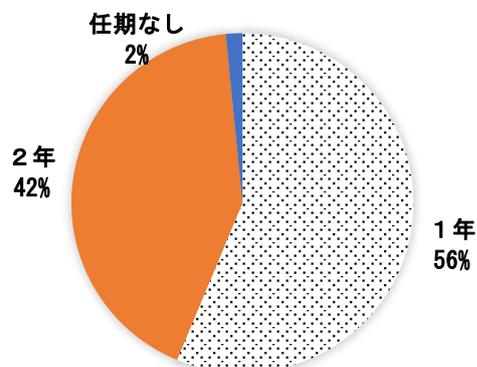
	件数(区)
選挙	7
互選、推薦	29
もちまわり、輪番	19
指名	13
抽選	0
その他 (候補者を人選して依頼)	4



- ・互選、推薦、もちまわり、輪番で66%を占めています。
- ・役を回す輪番制は良くないと言われる傾向がありますが、住民で負担を分担し、地域活動を実現するためのひとつの手段として確立されたものとも言えます。

Q2. ②【区長の任期】

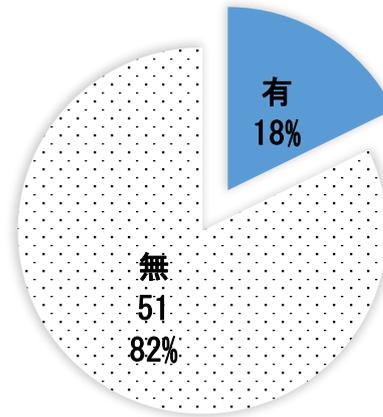
	件数(区)
1年	36
2年	27
3年	0
4年	0
任期なし	1
その他	0



- ・1年、2年任期という決まりはありますが、区長の在籍年数を見ると担い手不足により継続している方が多いことが伺えます

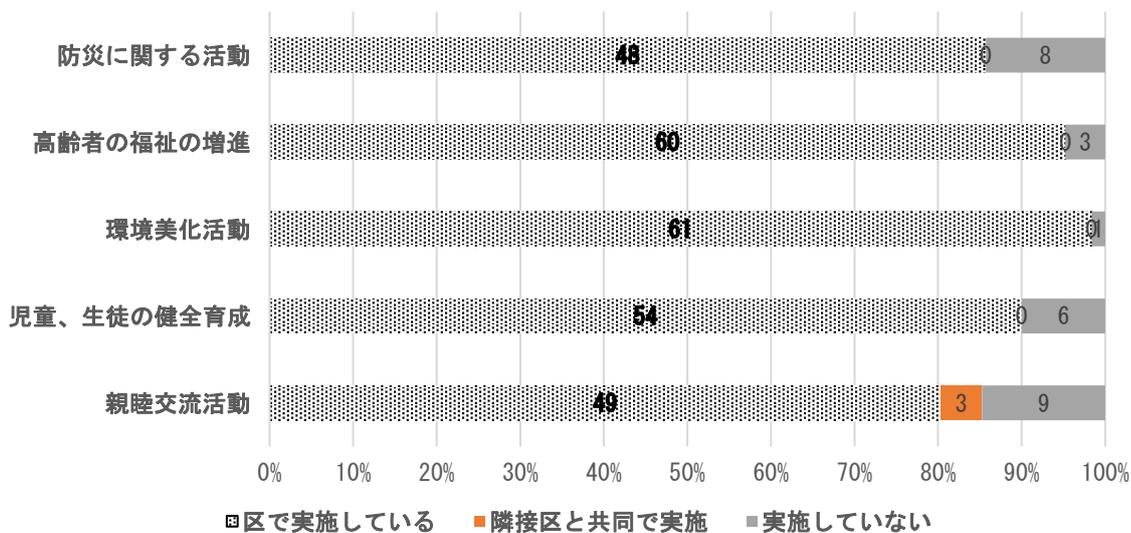
Q2. ⑤【AED 設置】

	件数（区）	内訳
有	11	7（購入）
		4（レンタル）
無	51	



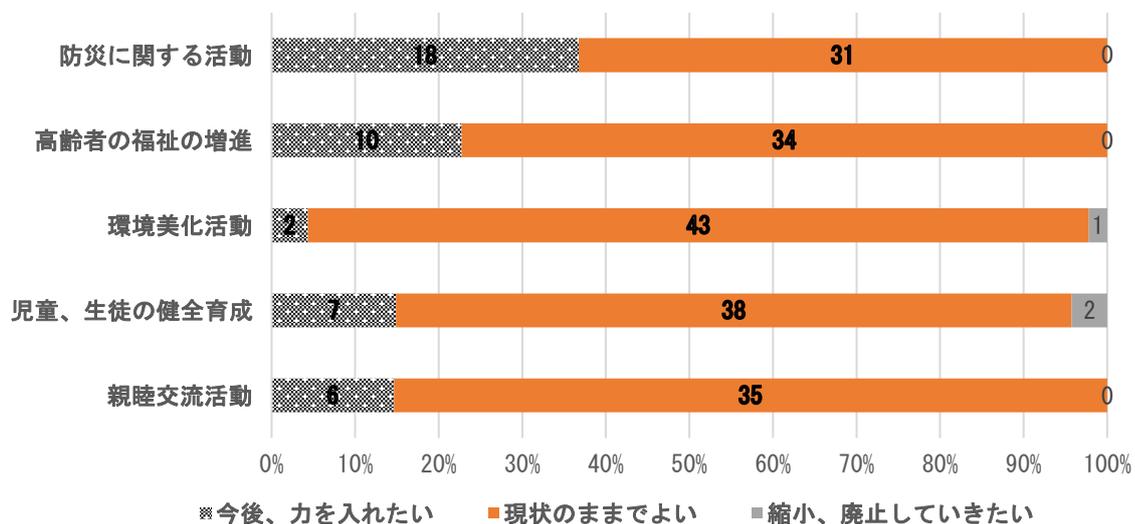
Q3. ①【区活動の現状】

	区で実施している	隣接区と共同で実施	実施していない
防災に関する活動	48	0	8
高齢者の福祉の増進	60	0	3
環境美化活動	61	0	1
児童、生徒の健全育成	54	0	6
親睦交流活動	49	3	9



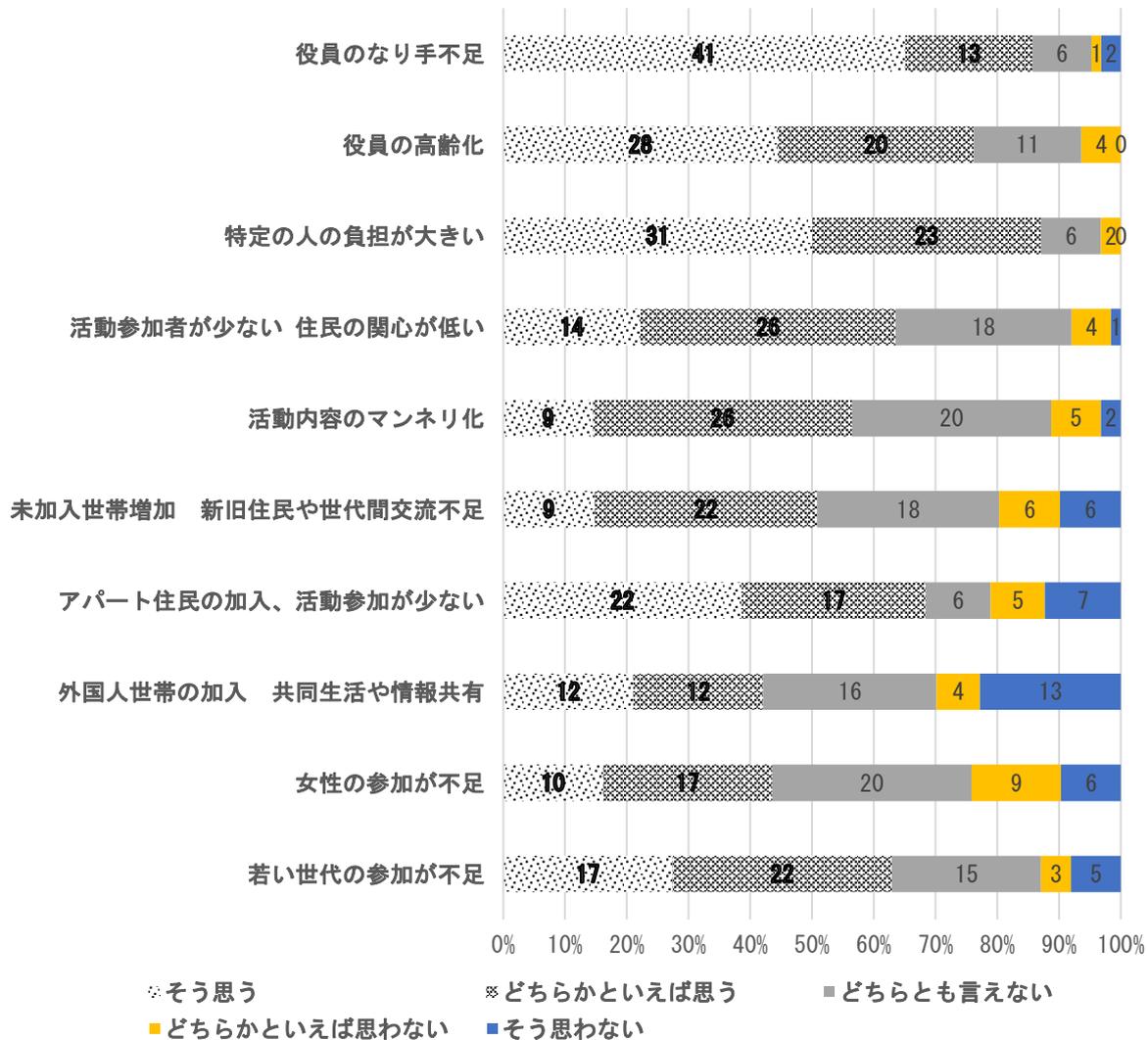
Q3. ②【区活動の今後の見込み】

	今後、力を入れたい	現状のままでよい	縮小、廃止していきたい
防災に関する活動	18	31	0
高齢者の福祉の増進	10	34	0
環境美化活動	2	43	1
児童、生徒の健全育成	7	38	2
親睦交流活動	6	35	0



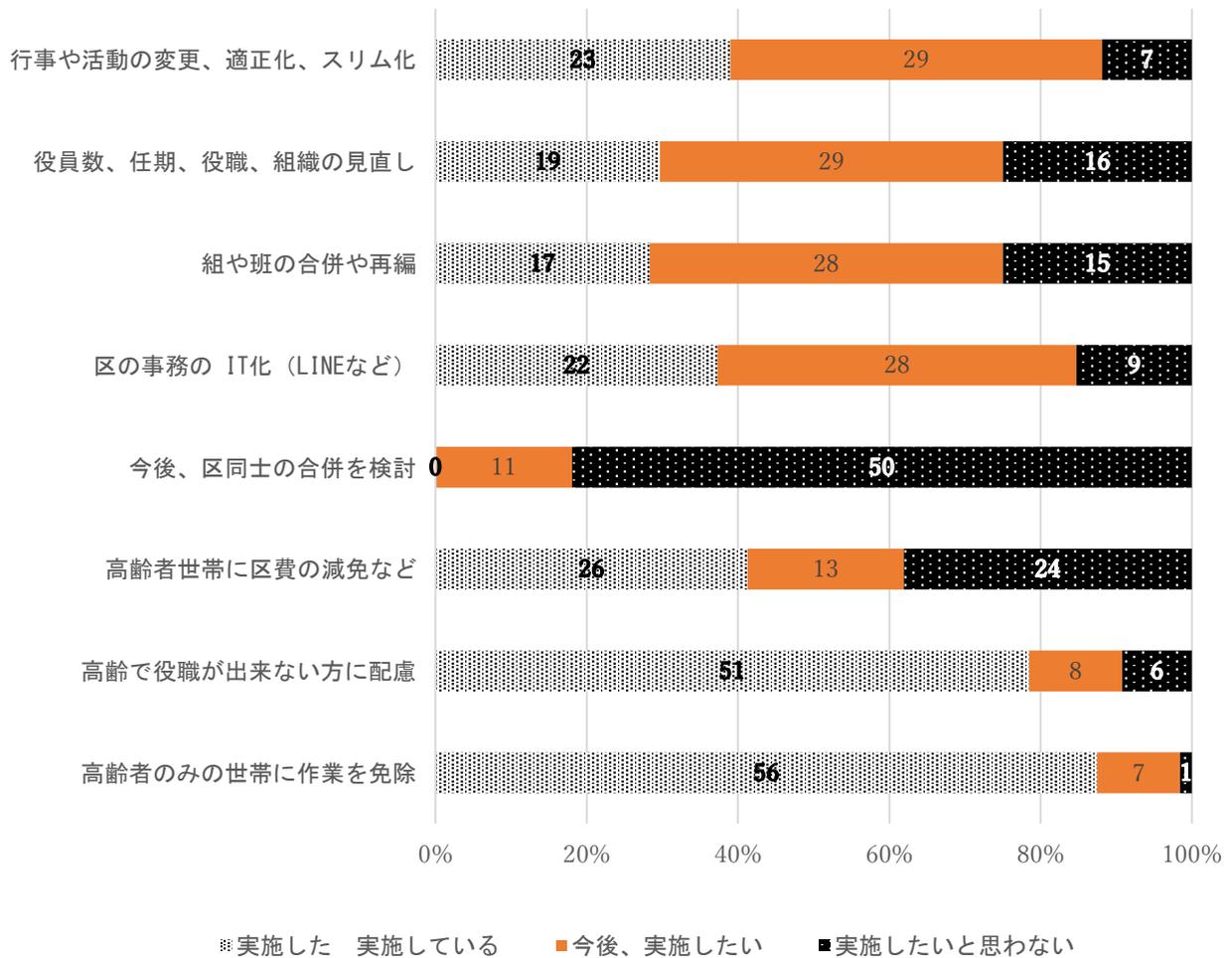
Q4. 【区の抱える課題】

	そう思う	どちらかといえ ば思う	どちらとも 言えない	どちらかとい えば思わない	そう思 わない
役員のなり手不足	41	13	6	1	2
役員の高齢化	28	20	11	4	0
特定の人 の負担が大きい	31	23	6	2	0
活動参加者が少ない 住民の関心が低い	14	26	18	4	1
活動内容のマンネリ化	9	26	20	5	2
未加入世帯増加 新旧住民や世代間交流不足	9	22	18	6	6
アパート住民の加入、活動 参加が少ない	22	17	6	5	7
外国人世帯の加入 共同生 活や情報共有	12	12	16	4	13
女性の参加が不足	10	17	20	9	6
若い世代の参加が不足	17	22	15	3	5



Q5. ①【活動の見直し・高齢化への対応について】

	実施した 実施している	今後、 実施したい	実施したいと 思わない
行事や活動の変更、適正化、スリム化	23	29	7
役員数、任期、役職、組織の見直し	19	29	16
組や班の合併や再編	17	28	15
区の事務の IT 化 (LINE など)	22	28	9
今後、区同士の合併を検討	0	11	50
高齢者世帯に区費の減免など	26	13	24
高齢で役職が出来ない方に配慮	51	8	6
高齢者のみの世帯に作業を免除	56	7	1



Q5. ②区の事務等のIT化を進めている場合の具体例を教えてください。

- ①役員はグループLINEで連絡を取り合っている。
- ②グループLINEで会議資料や現場写真の事前共有、出欠確認等を行っている。
- ③総会資料や会計報告などはPCデータで引き継いでいる。

Q5. ③区活動の見直しや、活動内容の補足があればご記入ください。

- ①区と公民館の事業、行事の在り方の見直し。
- ②役員構成や会議の開催回数を見直し、削減。
- ③高齢化とともに一人暮らし世帯が増えている。隣組や班の合併も検討したい。
- ④敬老会の在り方、敬老年齢の見直しが課題となる。
- ⑤少子化でイベントの開催に影響があり、PTAや育成会との連携が必要。
- ⑥隣接区との合同による行事の開催を検討したい。

Q5. ④高齢者に対する工夫や、活動内容の補足があればご記入ください。

- ①作業などの免除はしているが、その作業が貴重な交流の場でもあり、参加しやすいようにしている。
- ②高齢者への各種の配慮は、本人による組長への申請が基本。区民との交流の場として、本人の体力と意志を尊重しての顔見せをお願いしている。
- ③常例普請出役、出不足金の免除に年齢の線引きはない。コミュニティとして重要。
- ④民生委員の補助的な団体として、支え合いネットワークが組織され、高齢者の見守り活動をしている。
- ⑤年度初めに世帯調査（各組で）を行い、各組内の75歳以上の方の動向に注視するように依頼している。
- ⑥80歳以上の一人暮らしの方は道路普請等を免除している。敬老の日に商品券を贈呈している。

Q6. 力を入れている取り組みや、特色のある取り組みなどについて教えてください。

- ①R6年度はコロナ明けであったことから、各種の行事を積極的に実施した。
- ②月に1度、区民へのたより、経過報告などを回覧し、情報提供をしている。
- ③民生児童委員、高齢者クラブ、公民館等と連携して、高齢者が区の行事に参加しやすいようにしている。
- ④区民レクリエーションなどをPTAと連携して、子どもの参加者を増やす計画を立てている。
- ⑤区内一斉清掃は、全戸一人出席で行っている。交流の場としても有効と思います。
- ⑥資材支給による道路補修、道路法面の雑木の伐採など、行政に頼らず自分たちでできることは自分たちでやっている。

Q7. ①役員が決まらない場合の対応策はありますか。

- ①対応策がなく、困っている。
- ②前役員が留任、または関係者で役員を決める。
- ③各支部（常会、班、組）に割り振り、支部内で解決している（「今後は、輪番制での割り振りを検討する」を含む）。
- ④早い段階（数年前）からの根回しに心がけ、対応している。
- ⑤選考委員会等で候補者を選出し、（総出で）お願いに回る。

Q7. ②アパート、外国人、転入者等の入区対応について。

（アパート入居者）

- ①管理会社（所有者）は、区費を納付するが、区の活動には参加しないスタンス。
- ②管理会社（所有者）から区費を入金するが、区として入居者への加入活動はしてない。
- ③管理会社（所有者）のスタンスによる。市外等、遠方の場合は対応が難しい。

(外国人、転入者)

- ①区長又は役員が転入者宅を訪問し、加入活動をしている
- ②本人の希望を尊重し、無理強いはしない。
- ③入区促進を図るため、入区促進活動委員会を立ち上げた。

Q7. ③区加入者から「区を抜きたい」と相談があった場合、どのように対応していますか。

- ①強制できない。本人の意向を尊重する。
- ②残留の説得に努めるが、無理強いはできない。
- ③残留の説得に努める（今のところ事例がない）。
- ④区を抜けた後は、協力費（施設利用料）の負担を求める。

Q7. ④未加入者の課題（ごみ問題など）はありますか。どのように対応していますか。

- ①ゴミ出しを禁止できないので、ルール順守の説明に努めている。
- ②ごみステーション利用料をいただいている（今後いただく）。
- ③問題があるステーションの管理には、衛生委員や区民の負担が大きい。

アンケート結果から、今後実施したいことに活動のスリム化、役員任期等の見直し、組や班の再編、事務のIT化について挙げている区長さんが多く、高齢者対応は実施中が多く挙げられていました。

今後については、災害等の緊急時など、いざというときに区の役割が重要になると認識し、多くの区長さんがこの対策に注力していきたい旨の回答をされています。

また、同様に多くの区長さんが課題と捉えている「役員のなり手不足」については、すぐに解決できる問題ではありませんが、対策を講じるにあたり、アンケート結果を通じて、他の区の状況を知ることは有意義であると思われます。